

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	経済学部	現代ビジネス	学科 専攻
派遣先大学 (国)	クラウスタール工科大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Business and Engineering		
報告書提出日	2019年10月25日		
留学予定期間	2019年10月～2020年8月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 750,00 (€) /合計

航空券代： 165,610 (円) /合計

ビザ申請関連費： () /合計

その他（寮の備品(任意)）： 175,00 (€) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

ビザについて

◇必要書類

奨学金の証明

パスポート

パスポートサイズの証明写真

入学許可書

健康保険の紙

費用なし

直接 Goslar にある外国人局に行き予約をとった。

予約がいっぱいでとれたのが一か月後だった。

ID カードは大学の国際センターに届けられるが早くても 4 週間かかる。

1.2. 渡航について

ロンドン、ヒースロー空港経由でハノーファー空港まで行った。

ハノーファー空港からは、電車で空港→中央市街→ゴスラーまでいき、そこからバスでゴスラー→クローネンプラッツまで行った。同大学に留学中の日本人学生がクローネンプラッツまで迎えに来てくれた。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

寮のサービスポイントに行き鍵をもらう。メールやファックスでやり取りした契約書の原本とパスポートが必要。そのあと寮の契約書と寮の部屋の点検の用紙をもらう。契約書は住居登録に必要。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

寮の契約書、パスポート、学校の許可書を見せてサインをする。TAX-ID も申請が必要。居住登録ができた一週間後に tax-id がもらえるのでそれが用意でき次第銀行口座を開設して、寮にアカウントを提出。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

学生登録は国際センターで9日からと書かれていたが7日にもできた。14日からガイダンス、パーティーなどがあった。14日のガイダンスは正規学生のためのものだったので行かなかった。15日の留学生用のガイダンスでプレイスメントテストなどの説明があった。21日のプレイスメントテストはTOEFL や TOEIC と同じ方式で難易度には TOEIC biridge くらいのそれほど難しいものではなかった。70%あれば英語で行われるどの授業も履修できる。60%あれば大体履修できる。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

冬セメスターは英語力の向上がメイン。TOEIC は現在 600 点しかないので 750 点まで伸ばすことと、TOEFL は iBT で 85 点は取れるようにする。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

授業の履修は英語であるが、半期ドイツ語の授業もとった。授業では語学だけでなく、電車の乗り方やドイツの一般的な生活も紹介してくれた。英語面ではリスニングの勉強に重点を置いてやったが、現地について感じたのは日常の会話において教本のような文章のように話してくれないので聞き取るというより理解するのが難しかった。

3.3. 今月の学習・研修目標

スピーキングに一番課題があるためできる限り発言をする。ドイツ人だけでなく世界各国からの留学生がたくさんいるので勉強法にも注目してみる。授業だけでなく普段の生活でも会話を楽しむ。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Deutsch(13:00-15:30) Wirtschaftsenlisch(17:00-19:00)
火	English Refresher(10:00-13:00)
水	Technisch English(8:30-11:30)

木	B2 General English(9:00-12:00) Deutsch(13:30-16:00) English Conversation(18:00-19:30)
金	7 skills(9:00-12:00)
土	
日	

4.2. 授業について

A1.1 Deutsch

ドイツ語の最も初級の授業。数字や挨拶から始まってシンプルプレゼントの文章の練習。神奈川大学でドイツ語初級の授業もとっていたためそれほど理解は難しくない。グループで会話を練習する機会が多いので積極的に参加していきたい。

Wirtschaftsenglisch

ビジネスに関する記事が提示され、それを読んで意見を討論する。プレースメントテストで 60%以上点を取れば履修可能。専門用語が多く理解が難しい。このクラスをとっているほとんどの生徒は英語が普通に話せるため劣等感を感じる事がしばしばある。

English Refresher

テキストに沿ってグループでトピックについて討論しそれをクラスに発表する。プレースメントテストで 40%以上点を取れば履修可能。身近な話題(SNS など)が多いので会話に参加しやすい。

Technisches Englisch

工学についての記事をもとに文法や単語の練習をしたり、近代の発明について討論する。プレースメントテストで 60%以上点を取れば履修可能。専門用語が多く理解が難しい。英語だけでなく最近のテクノロジーについても勉強できる。

General English

一般的な英語の授業、神奈川大学の英語の授業や 5 限の講座のような感じ。プレースメントテストで 60%以上点を取れば履修可能。身近な文章(例えば文化や人種の違いなどの話題)を読みそれについて討論したりビデオを見て理解を深める。授業に出ているほとんどの学生が交換留学生。

English Conversation

クイズ形式で出されたお題についてグループで話し合っって答えを出す。プレースメントテストで 60%以上取れば履修可能。TED TALK などを利用してその中で行われたプレゼンテーションについて話し合う。辞書を使わせてもらえないためわからない単語はお互い説明しあって会話力を高める。

4.3. 予習・復習・自習について

A1.1 Deutsch

復習

授業で新しく習った単語や文法をまとめて次の授業までに覚える。

予習

教科書の次やる範囲の単語の意味を調べておく。

Wirtschaftsenglisch

復習

読んだ記事についての関連することを日本語でもしらべ理解する。

予習

次週のプリントがもらえるので単語の意味を英語で説明できるようにしておく。

English Refresher

復習

理解できなかった個所を友達や先生に尋ねて明らかにする。

予習

特にしてません。

Technisches Englisch

復習

新しくでた単語の確認、授業で習った記事について自分の言葉でまとめる。

予習

次の授業のページであろうところのトピックについて調べておく。大体山が外れる。

General English

復習

記事の読み直し。

予習

特にしていません。

English Conversation

復習

新しく知った単語や特有の言い回しを英語で説明できるようにする。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	------------

パスタが安いけど米が高い。

学校の Wi-Fi に接続できなかった。→インフォメーションセンターに尋ねた。解決した。

携帯の電波が悪い→来月 sim カードを変えます。

5.2. 課外活動について

休日は家で休む。レストラン以外何もお店がやってないため。

5.3. 現在までの感想

○悪いこと

- ・スーパーの商品が全部ドイツ語で何が何かわからないし電波がない。
- ・服の素材がぺらぺら。厚いものは異様に高い。
- ・バスの運転手英語しゃべれない。
- ・普段 100 均で買うようなちょっとしたもの(ハンガー、フック、コップ、料理の道具など)がちょっと高くて損した気分になる。
- ・交通系 IC カードがない。
- ・土日、午後は飲食店やスーパー以外どこも(銀行、市役所、国際センター、寮のオフィス)開いてない。
- ・料理がまずいわけではないけど焼けばいいと思っている。大味。

○いいこと

- ・食品が安い。
- ・クレジットカードが使える。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（12月）

所属	経済学部	現代ビジネス	学科 専攻
派遣先大学 (国)	クラウスタール工科大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Business and Engineering		
報告書提出日	2019年12月15日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

帰国までに TOEFL iBT85 点取得を目指す。スピーキングが苦手なため授業を通して得点のポイントを学び友人との会話でテンポよく話すコツをつかむ。もともとは興味がなかったが生活して話を聞いていく中でドイツ人をはじめ様々な国の人と日本人の若者の間の政治的関心の差について興味がわいたのでコントラバーシヤルなテーマについても話してみたい。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

とにかく話すことが目標だった。授業でのディスカッションも最初は話せなかったが少しずつ分からないことは質問したり自分の考えをあまり深くではないが話そうとするようになった。今でもなおテーマについての知識がないと全く会話に参加できなかつたり、そもそも質問の本質をつかめないことがあるので純粋に勉強不足を感じた。考える力をつけたい。

1.3. 今月の学習・研修目標

今月は 20 日からクリスマスバケーションが始まる。北ドイツへ旅行する予定なので旅先のレストランやカフェでドイツ語を使って注文をできるようにする。

2. 学修について

2.1. 授業について

◇Deutsch

英語と文法違うところで混乱する。時計の読み方すらパニックになる。

◇Wirtschaftsenglish

ビジネスに関する知識不足と考える力の足りなさが大きい壁。

◇English Refresher

授業内でまとめて発表する小さいプレゼンが難しい。テーマについても自分だけの視点ではなく、ほかの宗教や文化の違いも考えることが大変。

◇Technisch English

工学部向けの授業なので難しい。

◇B2 General English

4 技能全部を網羅する内容になっている。15 分の自由テーマプレゼンが控えているので準備中。

◇English Conversation

賛否両論のある話題をテーマに話し合う。民主主義について話したときは民主主義じゃない国の方もいたのでどこまで言っていかわからず困惑した。

2.2. 予習・復習・自習について

◇Deutsch

復習：授業で新しく習った単語や文法をまとめて次の授業までに覚える。

予習：教科書の次やる範囲の単語の意味を調べておく。

◇Wirtschaftsenglisch

復習：専門的な単語の確認。

◇Technisches English

復習：新しくでた単語の確認。

予習：教科書に目を通しておく。

◇General English

復習：記事の読み直し。

◇English Conversation

復習：新しく知った単語や特有の言い回しを英語で説明できるようにする。

2.3. 語学力について

◇英語

友達と話している中で口語の表現をいくつか覚えた。発音の問題で聞き返されることもあるけどめげずに話すようにした。1対1の会話は理解できるけどグループでいるときに速さについていけないことがよくある。

◇ドイツ語

スーパーでは挨拶や決済方法などをできるだけドイツ語で話すようにしている。会話ができるほどの文法、単語の知識はまだない。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）

3.2. 課外活動について

--

3.3. 現在までの感想

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	経済学部	学科	現代ビジネス学科	3 年次
派遣先大学 (国)	クラウスタール工科大学 (ドイツ)			
所属プログラム・ 学部・研究科	Wirtschaftsingenieurwesen	履修言語	英語 ドイツ語	
留学期間	2019年10月～2020年3月			
報告書提出日	2020年5月9日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Winter Semester	10月28日 ～2月20日 (15週)	1月30日 ～4月1日	※授業期間は試験期間はなく、課目によってバラバラだったため最初の試験と最終試験の日程を記載。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
WS	English Conversation	18時間	木曜に1.5時間の授業。内容として、著名人(大統領など)のスピーチ、TEDTALKなどを聞きその内容についてグループで話し合う。試験なし。
		1.5(時間/回) ×1(回/週) ×12(週)	
WS	Deutsch	60時間	月曜と木曜に1.5時間ずつの授業。教科書に沿って進める。ペアによる回答やグループでのドイツ語の短い文章を作る。試験は4技能で教科書の単語と文法の理解をしてあることが必要。作文は簡単な文章をつなげてつくる。
		2.5(時/回) ×2(回/週) ×12(週)	
WS	Wirtschaftsenglisch	26時間	※左に加えて90分の模擬試験を三回受けた。 授業は用意された文章からビジネス関係の単語を抜き出し意味を説明する形式の授業や、存在する会社の経営
		2(時間/回) ×1(回/週)	

		×13(週)	モデルを以後学習のために砕いた文章を利用した授業。試験は、文法、ビジネス英語の語彙、ビジネスメールの返信、略語の意味 (CEO=chief executive officer など)、ビジネス英語の意味の説明、ビジネスに関する賛否両論ある話題についての作文のパートに分かれている。授業終了から試験までの間の期間で希望すれば模擬試験が受けられる。プレゼンテーションでは現実にある会社から一つの会社を選びその会社についてプレゼンをした。
WS	English Refresher	45 時間	授業は教科書に沿ってグループでその文章について話し合ったり関連する単語を集めたりした。試験はリスニング、文法、一般的な文章についてのリーディング、身近な話題についてのライティング。
		3(時間/回) ×1(回/週) ×15(週)	
WS	Technishes Englisch	36 時間	※左に加えて 90 分の模擬試験を三回受けた。授業はグループで工業系の文章 (宇宙エレベーター、国ごとのコンセンツの違ひ) を読みそれについての案や意見などを出す。教科書に出てきた文法などの解説。試験は文法、工業的な語彙、文章の間違ひ指摘、工業系のライティング (例: 身近な発明について、電気自動車について) などのパートに分かれている。授業終了から試験までの間の期間で希望すれば模擬試験が受けられる。
		3(時間/回) ×1(回/週) ×12(週)	
WS	General English Intermediate	42 時間	English Refresher の一個上のレベル。季節などの話題について自分の国ではどのようなイベントがあるかなどをクラスに紹介する。試験は 4 技能で一般的な話題についての内容。プレゼン自分の好きなお題を選び発表。ほかの発表者へのコメントを言い合ったりする。自分は「東京オリンピック」について発表した。
		3(時間/回) ×1(回/週) ×14(週)	
WS	Vorbereitung auf den TOEFL	39 時間	TOEFL の演習。ライティングのみ先生が添削。
		3(時間/回) ×1(回/週) ×13(週)	
WS	English for International Commerce TOEIC preparation	30 時間	TOEIC の演習。上に同じ。
		2.5(時間/回) ×1(回/週) ×12(週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

日本語を使わないように心掛けた。分からない言葉は、英英辞典や独英辞典を利用した。授業中は辞書で調べずグループのメンバーや先生に聞いた。予習は次週に授業のある教科書のすべてを理解するようにして授業についていけるようにした。復習は予習で分からず授業で聞いたところや新しく理解したことを復習した。

1.4. 語学力について

英語：

自分自身では大きな成長を感じるとは思っていないが、英語を話さなければ生きていけない環境で英語だけ（まれにドイツ語）を利用して生活していたからか、徐々に授業中の発言は増えていったと思う。最初は自分から質問や意見もできなかったが、次第に自ら意見を言えるようになった。

ドイツ語：

最初は全く話せなかった（授業の知識のみ）がスーパーやレストランではドイツ語で店員が話してくるので簡単なフレーズやよく使うフレーズは覚えた。レジではできるだけドイツ語で買い物をするように心掛けていた。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

当初の目的である学部の専門的な勉強は2020年のSummer Semesterに学ぶ予定だったがコロナウイルスの広がりや帰国になってしまったためかなわなかったのが悔しい。語学については日本で勉強している時とは違い分からないことも疑問もすべて英語で尋ねるため英語に触れる機会が多かった。一番成果が出たのはライティングのパートだと思う。どの試験でもライティングがあったため、効果的な書き方やまとめた文章、書き換えの仕方、文章同士の接続の方法を身につけることができた。一番力を入れていたのはスピーキングだが、友達同士の会話ではビジネスや仕事で使えるような言葉遣いはできていなかった。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

一番の反省点は、会話をする際に「伝わればいい」ということばかり意識してしまっていたことだ。最初は話すことすら苦手だったため伝わればいいから話すという目標を持っていたが、だんだん話せるようになってからはもっと文法や丁寧な表現などをもっと意識しながら会話するべきだった。

2.3. 留学生活で得られたもの

1. 海外から見る日本の位置づけを学べた。

自分のイメージでは日本は経済大国で名前の挙がるメジャーな国だと思っていたが海外の人からすると、アジアにある一つの国という感覚で、中国や韓国と一緒にたにさている。日本から来たというと、ああアニメね。ドラゴンボールね。と言われた。海外からの印象は車や工業ではなくサブカルチャーのほうが大きいらしい。

2. 出る杭になるのは当たり前。

日本には「出る杭は打たれる」といわれ、自分を抑え周りと合わせるのが普通であると思った。しかし、授業の環境に関する話題などの中では全く逆の意見を躊躇なく言い、主張する人が多かった。みんなで同じ意見について話し合うというより全員が違う意見を言い合うという印象を受けた。

3. 日本車のクオリティ

ドイツでは車（フォルクスワーゲン、BMW、ベンツ、アウディなど）が有名だが、たくさんのブランドがあるにもかかわらず日本車（トヨタ、マツダなど）もたくさん見た。日本ではベンツなどは高級車として見られるため、駐車場に「ベンツ、ベンツ、トヨタ、ベンツ、トヨタ、トヨタ」と車が並んでいると嬉しくなった。

4. マイノリティになること

特にコロナウイルスの流行った時期は、歩いているだけで非難されたり、悪口を言われたりした。わざと避けて歩かれ、咳をわざとかけられ、鼻をつままれた。危機に便乗して生産性のない行動をする人はどの国にもいるのだと感じた。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

お金の管理をすること。特に観光地ではスリが多いためリュックを持っていても貴重品はフロントバックや自分の目の見える場所に持っていたほうがいい。一度友達とフランスに行った時スリにつけられ怖かった。ベルリンでは目の前の人がポケットに手を入れられていたのを見た。

お酒には気を付ける。交流の一環でパーティに行くことが多々あるが、日本のお酒よりも度数が高いお酒が多いので体調を崩さないように気を付けたほうがいい。

相手の文化を考える。食事のときの音やマナーは国によって違うので、相手を不快にさせないために事前に調べて現地の人に合わせる必要がある。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年5月10日	
派遣先国	ドイツ	
派遣先大学	クラウスタール工科大学	
留学先での所属学部	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：(Business engineering) <input type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ()	
本学での所属	経済学部	現代ビジネス学科
学年	2年次 (留学開始時の学年)	
	2年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年10月 ~ 留学終了年月 2020年3月	
	留学期間 6ヶ月間	

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数)
3	住居形態の詳細を教えてください。	1R
4	入居時手続き	日本でやり取りした書類を提出しサービスポイントで鍵を受け取る。
5	費用 (月額)	約3万円
6	食費 (月額)	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 () 円
7	支払方法	銀行口座から引き落とし
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
9	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
10	周囲環境	大きめのスーパー、交通の便はよくない
11	アクセス	大学まで徒歩15分、大きいバス停まで20分
12	留学中の住居に関して アドバイス	個人より共用の寮のほうが会話の機会があってよい。

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	プリペイド式
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	スーパーでSIMを購入。毎月アプリで入金。
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）				
1	宿舎費	250.00	€/月	備考（EURO）
2	食費	150.00	€/月	備考（EURO）
3	交通費	0	€/月	備考（EURO）
4	通信費	15.00	€/月	備考（EURO）
5	娯楽費	100.00	€/月	備考（EURO）
6	図書費	0	€/月	備考（EURO）
7	学用品（教科書など）	0	€/月	備考（EURO）
8	被服費	100.00	€/月	備考（EURO）
9	医療費	0	€/月	備考（EURO）
10	雑費・その他	100.00	€/月	備考（EURO）
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）				
11	出願料・宿舎デポジット	750.00	€/月	備考（EURO）
12	ビザ申請関連費	0	円/月	備考（円）
13	航空券代（休暇時旅行費用は除く）	165.610	円/月	備考（円）
14	その他	115.00	€/月	備考（EURO）
15	留学全日程に要した総額（概算）	90万	円/合計	
お金の持って行き方				
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：50,000円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：三菱UFJ） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他（ ）			
17	現地で銀行口座開設	した		
18	口座開設手続き方法・利点・欠点	寮の支払いに利用した。開設は銀行に予約して日程のメールが来るのでその日に銀行に行き開設。		
19	お金に関するアドバイス	最初の月は生活のものを集めるのにお金がかかる。奨学金では結構ギリギリなので自分でもお金を用意する必要がある。		

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	L2 (10か月分で約11万円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参の方が良かったと思う薬などはありますか？理由は何ですか？	風邪薬。海外のものは強くて体調不良になると聞いたため。

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの インスタントの日本食・薬・調味料・箸
2	現地で購入したもの 日用品
3	（自分は持っていかなかったが）日本から持っていったら便利だと思ったもの 文房具の予備

VI. 留学先で困ったこと

日本と制度が違うため履修登録が理解できなかった。電車のチケットを買うのが面倒だったがアプリを使うのが楽で簡単なことに留学終盤に気づいた。スーパーの調味利用がドイツ語で何か分からない。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

何があるか分からないので行けるうちに旅行をすること。途中帰国になってしまい行きたかったところに全然行けなかった。